

# ビーン スレッシャ

## 取扱説明書

### SJ-2502T

#### も く じ

##### ご使用になる前に

- はじめに ..... 1
- 安全のため必ずお守りください ..... 2
- 各部の名称とはたらき ..... 7
- 使用前の準備 ..... 9

##### ご使用にあたって

- 走行及び作業のしかた ..... 14

##### 知っておきたいこと

- メンテナンス ..... 16
- 長期格納のしかた ..... 22
- 不調の原因と処置 ..... 22

##### その他

- 仕様 ..... 23
- オプション ..... 23
- 安全確認一覧表 ..... 24

ご使用前に必ずお読みください  
いつまでも大切に保管してください

# はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書には、本機の正しい安全な使いかた、保守点検などについて記載してあります。本機を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになって、本機の構造などをじゅうぶんご理解ください。

なお、仕様などの変更により、お求めいただいた製品と、本書の内容やイラストの一部が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お読みになった後、必ず大切に保管し、わからないことがあったときは、いつでも取出してご利用できるようにしておいてください。

## ■危険防止

この取扱説明書では、必ず守っていただきたい重要な注意事項について、次のように表示しています。

### 1. 安全のため必ず守っていただきたいこと。

**⚠ 危険** ……もし守らないと、死亡または重傷事故を引起こします。

**⚠ 警告** ……もし守らないと、重傷事故を引起こすことがあります。

**⚠ 注意** ……もし守らないと、負傷事故を引起こすことがあります。

### 2. 機械の損傷を防ぐため必ず守っていただきたいこと。

**重要** ……もし守らないと、機械の故障や損傷につながります。

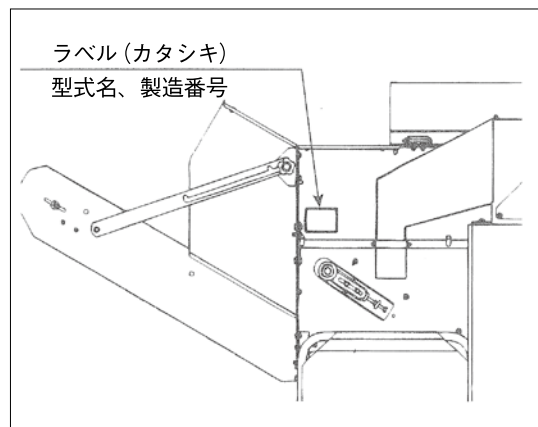
**補足** ……その他、使用上役立つ補足説明を示します。

## ■ご不明な点や不具合がありましたら

本書や本機についてご不明な点や、不具合がありましたら、無理に使用せず、ご購入店または弊社（本書のうら表紙に記載）までお問合わせください。

軽い故障でも重大事故につながる場合がありますので、早期発見に心がけ、早めに整備してください。

故障や不具合が発生したときは、型式名と製造番号を必ずご連絡ください。



### ⚠ 警告

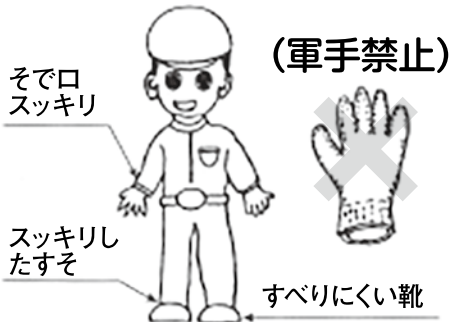
- 本機は大豆・黒大豆の脱粒機用として設計されています。小豆での作業をする場合は、別売の小豆キットを購入してください。この他の用途には使用できません。
- 改造して使用することは、しないでください。

# ⚠️ 注意 安全のため必ずお守りください

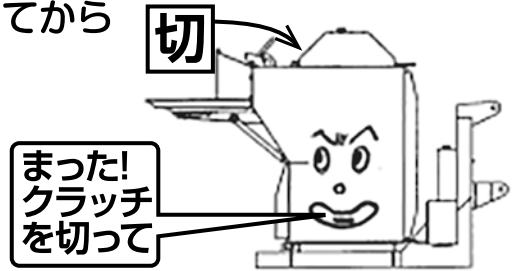
使用前にこの取扱説明書をよく読み、理解する

機械を他人に貸す場合は取扱い方法をよく説明し、あらかじめ取扱説明書をよく読ませる

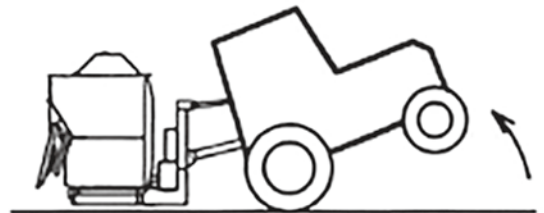
作業に合った服装



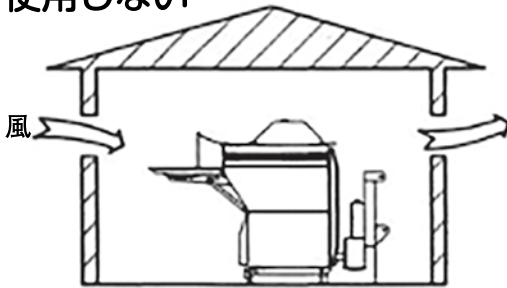
トラクタエンジン始動は周囲の安全を確認し、クラッチを切ってから



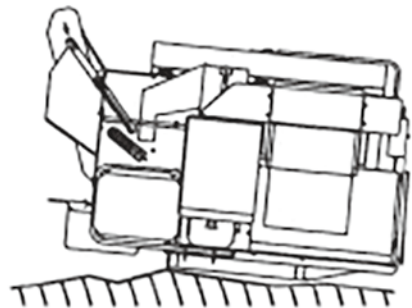
後バランスで前が上がる場合は、トラクタ前部にウェイトをつける



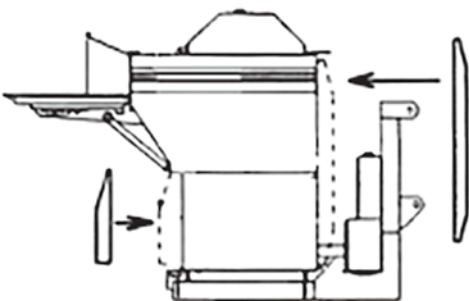
室内換気の悪い所、暗い所では使用しない



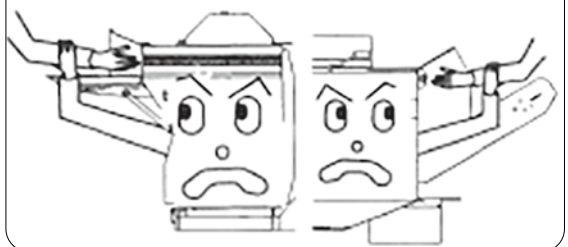
作業は水平でしっかりした場所で



カバーは必ず取付けてから運転

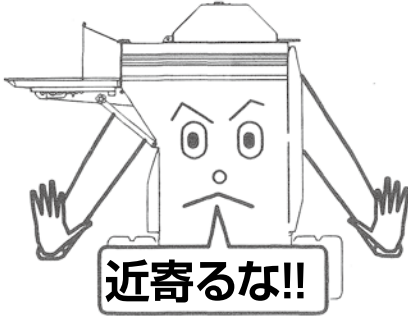


回転中は供給口や排出口へ絶対に手を入れない

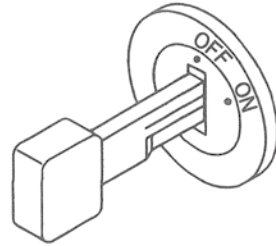


# ⚠️ 注意 安全のため必ずお守りください

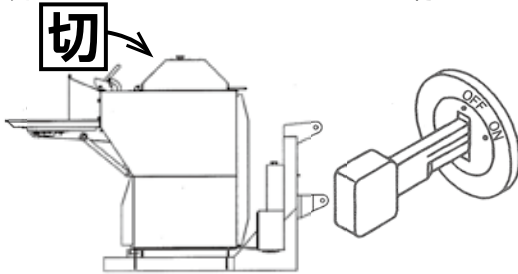
回転中は人を近づけない



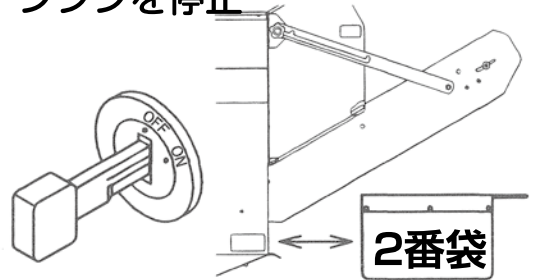
点検や調整時、又は機械から離れるときはトラクタエンジンを停止する



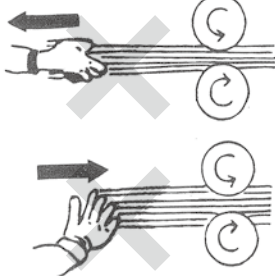
詰まりや異常発生時はクラッチを切り、トラクタエンジンを停止



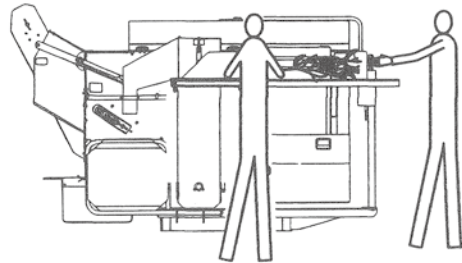
2番袋の脱着時はトラクタエンジンを停止



供給物を無理に引っ張ったり、押し込んだりしない



作業中の移動禁止  
移動は脱穀クラッチを切ってから



# ⚠️ 注意 安全のため必ずお守りください

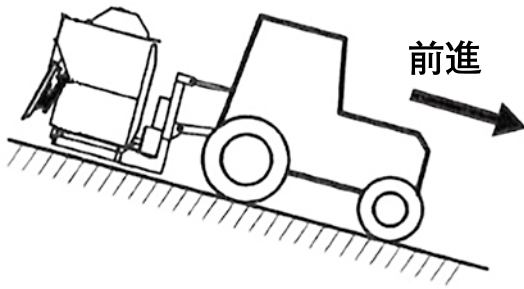
## ⚠️ 注意

- 後バランスでトラクタ前輪が少しでも浮く場合は、必ずトラクタ前部にウェイトをつけてください。ウェイトをつけないとトラクタが転倒する恐れがあり大変危険です。

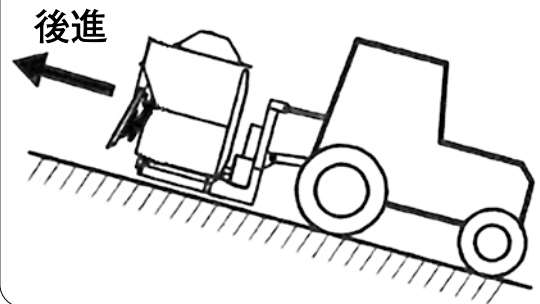
### ■ トラクタへのウェイトのセット及び走行移動時の注意点

1. トラクタにビーンスレッシャを装着後、トラクタ前輪にかかる荷重がトラクタ質量の20%以上となるようにウェイトを選定して、トラクタ前部にセットしてください。  
もしトラクタ前輪にかかる荷重がトラクタ質量の20%以上ない場合は、急な上り坂、急発進時等に操縦が難しくなり、転倒事故を起こす恐れがあります。
2. 脱穀作業する畑等への出入りは前が浮くことのないよう、畑等へ入る場合（下り坂）は前進で、畑等から出る場合（上り坂）は後進で行なってください。

#### 畑等へ入る場合（下り坂）



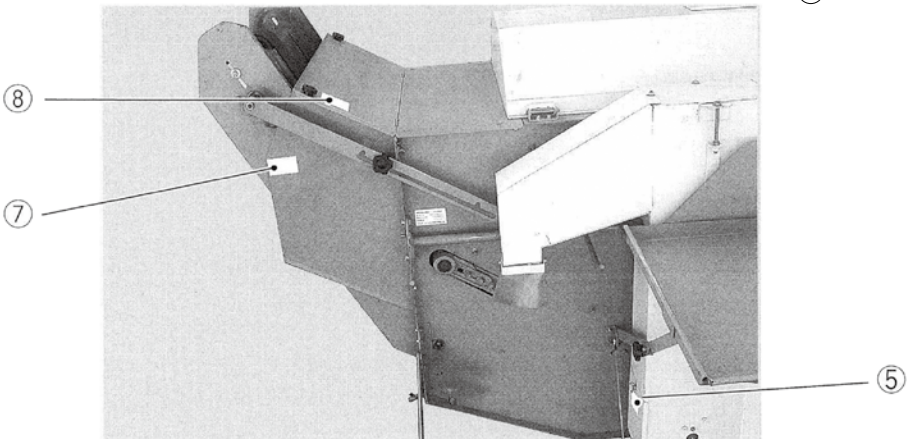
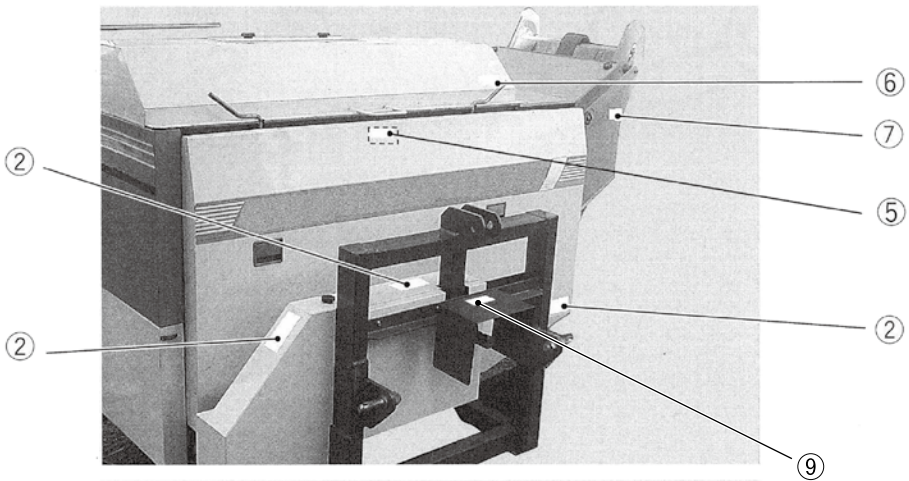
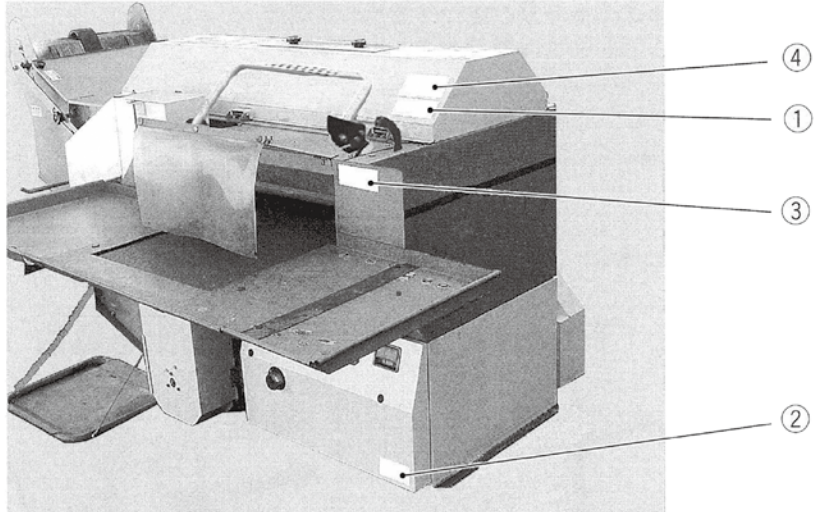
#### 畑等から出る場合（上り坂）



# ⚠️ 注意 安全のため必ずお守りください

## 使用前に安全ラベルをよく読む

- 本機には次の安全ラベルが貼ってあります。よくお読みになって、理解した上で作業してください。



# ⚠ 注意 安全のため必ずお守りください

① 品番 71131-41171

## ⚠ 注意

1. 取扱説明書をよく読み、機械の使い方をよく覚えてから使用のこと。
2. 取扱説明書がない場合は取寄せてください。
3. 必ず動力部の安全カバーを取り付けて使用のこと。
4. 点検整備時は、必ず動力を止めること。
5. 点検整備で取り外したカバー類は、必ず元通り取り付けること。

71131-4117-1

② 品番 57422-71191



## ⚠ 注意

このカバーを外したままで使用しないこと。  
中の回転物に巻き込まれることがあります。

57422-71191

③ 品番 19115-31911



## ⚠ 危険

回転中この中に絶対手を入れないこと。  
中の回転物に巻き込まれケガをします。

19115-31911

④ 品番 19133-61241



## ⚠ 危険

ビーンスレッシャをトラクタに装着後、後バランスで前が上がる場合は、必ずトラクタ前部にウェイトをつけてください。ウェイトをつけないとトラクタが転倒する恐れがあり大変危険です。

19133-61241

⑤ 品番 53981-64341



## 掃除口

中に回転物がありケガをするので、清掃時はエンジンを必ず止めること。  
清掃後はフタを必ず閉じること。

53981-64341

⑥ 品番 53981-64321

## ⚠ 注意

中に回転物がありケガをするので、点検・調整時はエンジンを必ず止めること。  
点検・調整後はカバーを必ず取付けること。

53981-64321

⑦ 品番 53690-31292

## ⚠ 注意

中に回転物がありケガをするおそれがあるので、運転中は絶対に手を入れないこと。

53690-31292

⑧ 品番 71713-71131

## ⚠ 注意

1. フタを開く時は必ずエンジンを止めること。
2. 回転中はこのフタを必ず閉じること。

71713-71131

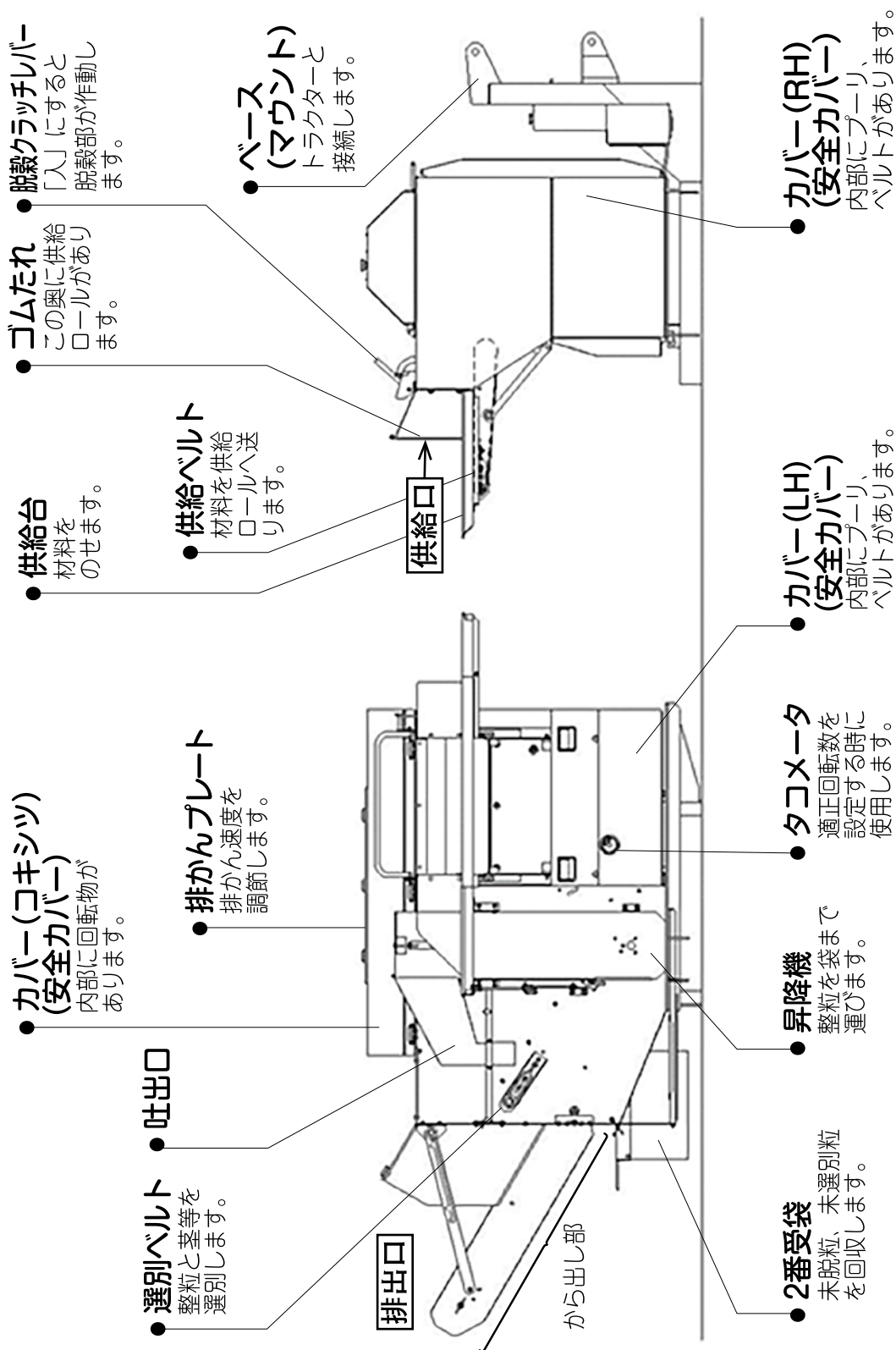
⑨ 品番 22132-31141

## ⚠ 注意

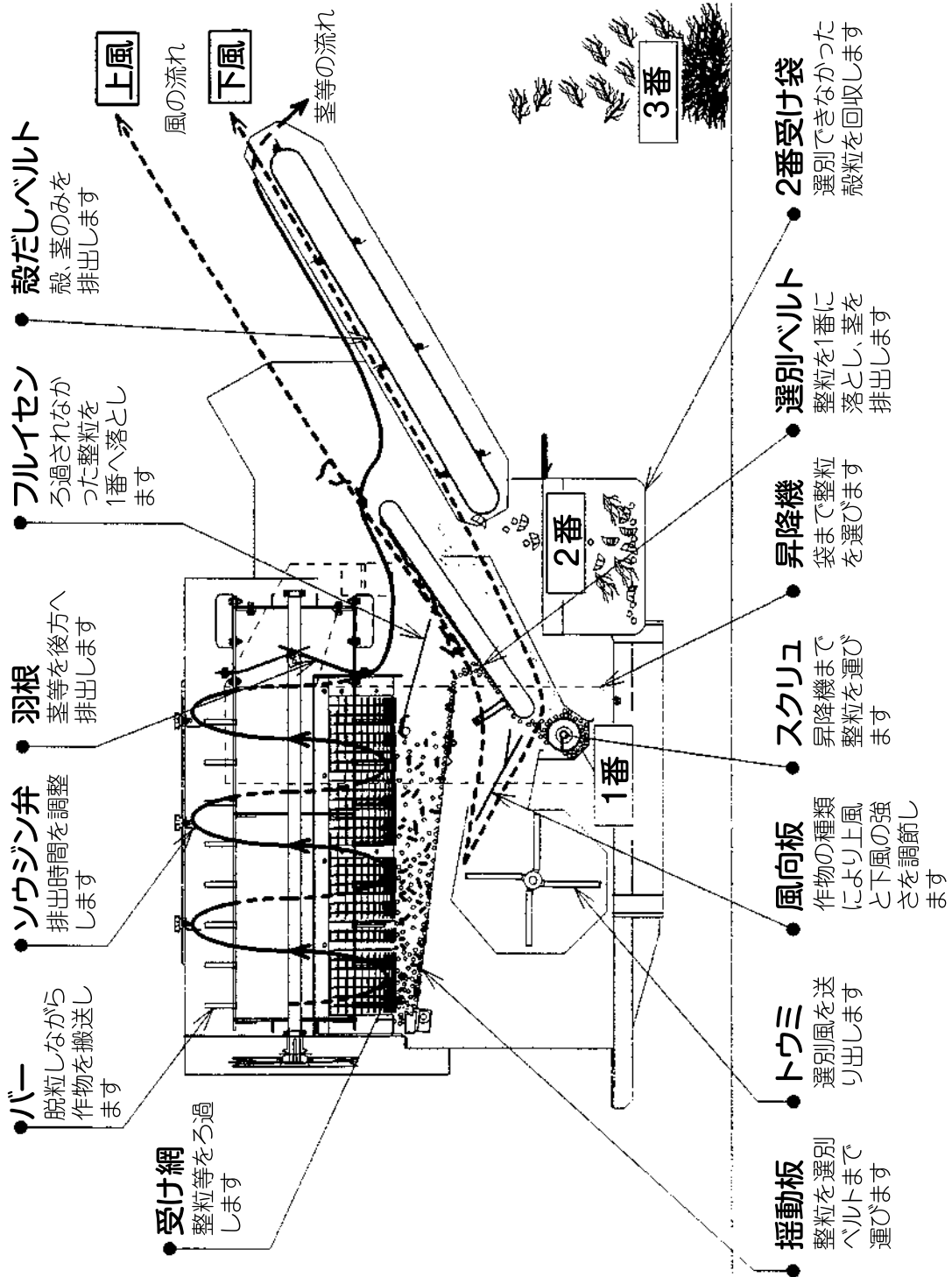
危険ですから運転中はこのカバーの中には手を入れないこと。

- ラベルはいつもきれいにし、ハッキリと見えるようにしてください。
- シナーやアセトンなどの溶剤ではふかないでください。文字や絵が消えることがあります。
- ラベルが損傷・破損した場合は新しいラベルと交換してください。
- 安全ラベルを貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい安全ラベルも取寄せ、取外した部品と同じ場所に貼ってください。

# 各部の名称とはたらき







# 使用前の準備

## 警告

- 本機の組付け作業は、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO変速を「中立」にし、エンジンを停止した状態で行なってください。
- 本機を持ち上げた状態で、本機の下に体や体の一部を入れないでください。

## 1. 作業前の点検

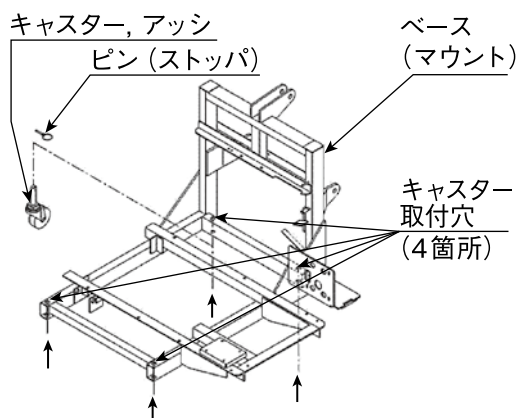
ベース（マウント）に変形・亀裂などの異常がないか確認してください。異常がある場合は修理または交換してください。

## 2. キャスター、アッシの組付け

### 警告

- フォークリフト等で本体を持ち上げる場合は、必ず平坦な場所で、供給台を折りたたんだ状態で静かに持ち上げてください。また、フォークリフトで持ち上げたまま、移動は行わないでください。機体がバランスを崩し、転倒するおそれがあります。

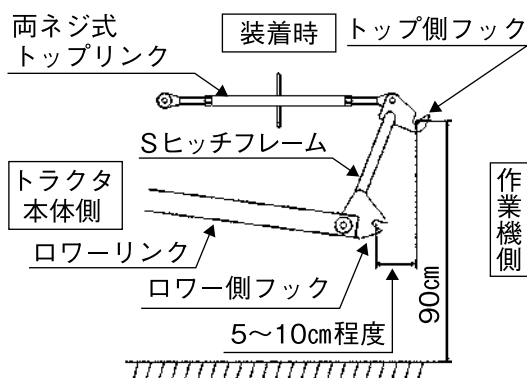
キャスター、アッシをベース（マウント）にピン（ストッパ）で組み付けます。



## 3. トラクタへのセッティング

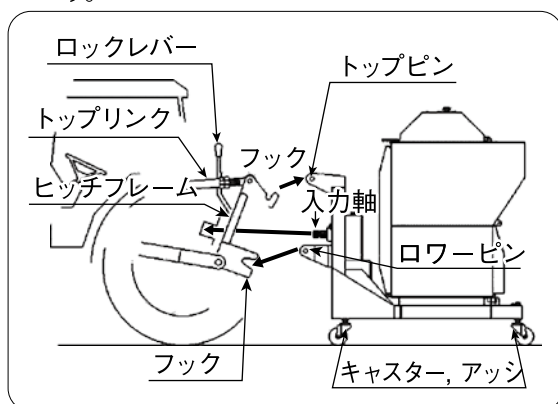
### (1) オートヒッチ装着時の注意点

- ① 装着可能なヒッチフレームは、JIS標準オートヒッチ0-I兼用Sカプラフレーム区分A（カラーを使用しない）タイプです。※区分Bの場合は、別途カラーを取り付ける必要があります。
  - ② トップリンクは両ネジ式で、下記のように長さ調整可能なものをご用意ください。
    - ・装着時Sヒッチフレームのトップ側フックが地面から90cmの高さのとき、ロワー側フックより5～10cm程度作業機側に突き出ている必要があります。（トップリンク調整範囲の参考例）クボタW3P：620～850mm以上、ヤンマーSヒッチ：446～654mm、等
- ※必要な長さはご使用のトラクタ、ヒッチフレームによって異なります。



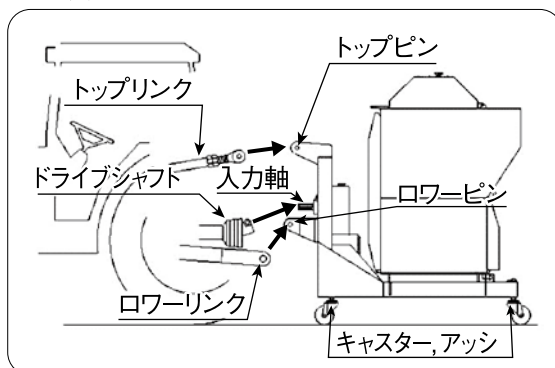
## (2) オートヒッチ装着の場合の組付け

- ① ヒッチフレームのトップ側フックが、ロー側フックより本機側に5~10cm程度突き出るように、トップリンクの長さを調節します。
- ② ヒッチフレームのロックレバーを解除します。
- ③ ヒッチフレームのトップ側フックで、本機のトップピンをすくいます。
- ④ 本機のローピンが、ヒッチフレームのロー側フックに収まるまで、トップリンクを縮めて行きます。ピンがフックに収まったら、ヒッチフレームのロックレバーをロックします。
- ⑤ 本機を持ち上げ、キャスター、アッシを外します。
- ⑥ 本機が水平に接地する様、トップリンクの長さを調節した後、ロックナットでロックします。



## (3) 3点リンク直装の場合の組付け

- ① トップリンクの長さを調節し、トップピンを通して本機に取付け、抜け止めピンを取付けます。
- ② 左右のローリンクにローピンを通し、抜け止めピンを取付けます。
- ③ ローリンクの振れ止めに左右均等に張ってください。
- ④ 入力軸にドライブシャフトを取付けます。ドライブシャフトが長い場合は、適切な長さに切ってお使いください。(ドライブシャフトの取説に記載。最小かみ合い長さ80mmを確保のこと。)
- ⑤ ドライブシャフトのチェーンをトラクタおよび本機に取付け、カバーの回転防止をしてください。チェーンは本機を上下しても引っ張られないよう、余裕を持たせてください。
- ⑥ 本機を持ち上げ、キャスター、アッシを外します。
- ⑦ 本機が水平に接地する様、トップリンクの長さを調節した後、ロックナットでロックします。



## (4) 入力軸カバーの取付け

ヒッチフレーム等と干渉しないことを確認の後、入力軸カバーを取り付けてください。取付け方法は入力軸カバー同梱の組付け要領書を参照してください。

#### (5) ウェイトのセット

- トラクタにセット後、静かに脱穀部を上げ、もし後バランスの場合は、必ずトラクタ前部にウェイトをつけてください。

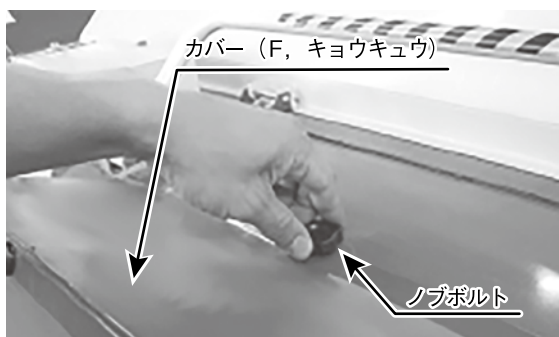
#### ⚠ 危険

- 後バランスの場合は必ずトラクタ前部にウェイトをつけてください。ウェイトをつけないとトラクタが転倒する恐れがあり、大変危険です。

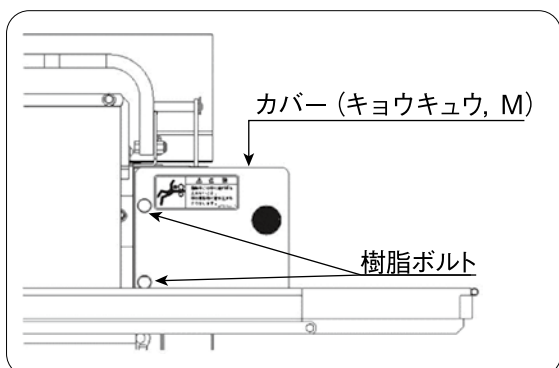
### 4. 本機の準備

#### (1) 供給部の準備

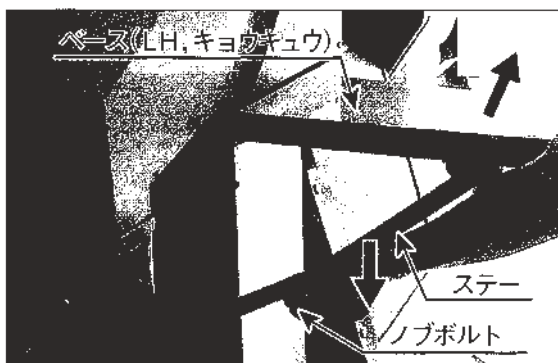
- ①カバー（F、キョウキュウ）を固定しているノブボルトを外し、図のように組み替えて固定します。



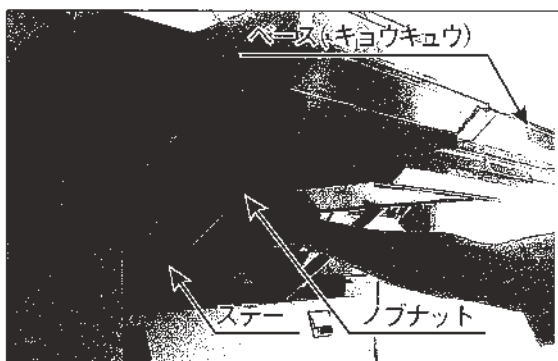
- ②カバー（RH、キョウキュウ、M）を固定している樹脂ボルトを外し、図のように組み替えて固定します。



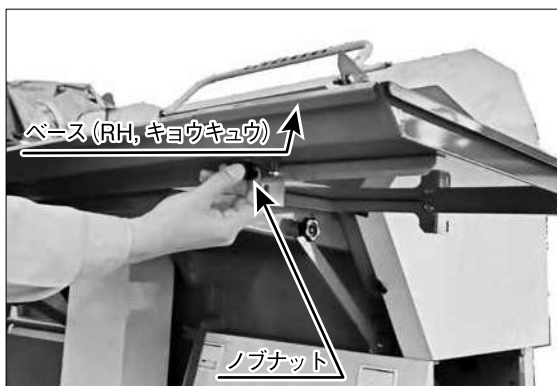
- ③ノブボルトをゆるめ、ベース（LH、キョウキュウ）を上方に起こします。このとき、ステアーを押し下げ、ノブボルトで確実に固定します。



- ④ベース（キョウキュウ）を固定している（左裏側）ノブナットをゆるめ、上方に起こします。このとき、左右のステアーのかぎ穴で支え、ノブナットで確実に固定します。



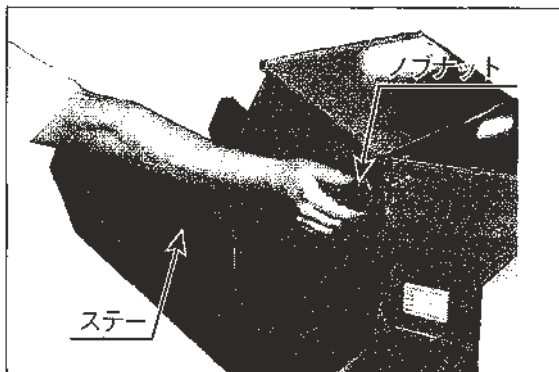
- ⑤格納されているベース（RH、キョウキュウ）のノブナット（2箇所）を外し、ベース（RH、キョウキュウ）を上方に起こします。このときボルトをベース（キョウキュウ）の穴に差し込みノブナットで確実に固定します。



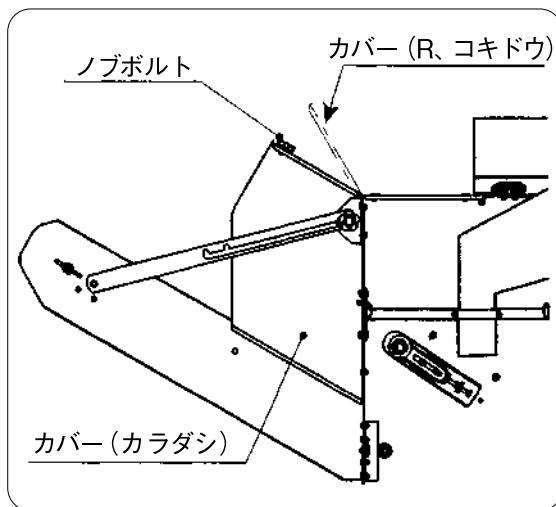
- 格納時は、逆の順序で行なってください。

## (2) から出し部の準備

- ①左右のステーを固定しているノブナットをゆるめ、から出し部を保持しながら倒します。
- ②最前端のかぎ穴に入れ込み、ノブナットで左右確実に固定します。  
(※から出し角度は2段階の設定ができます。)

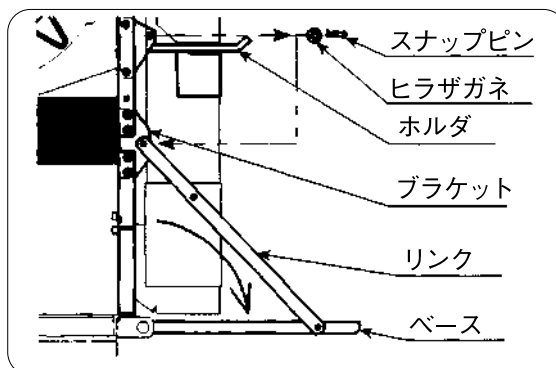


- ③出荷状態でカバー（カラダシ）に仮止めているノブボルトを取り外し、カバー（R、コキドウ）を下方に倒し、ノブボルトで固定します。



## (3) 1番受け袋の設定

- ①リンクを固定しているスナップピン、ヒラザガネを外し、リンクのピン部をブラケットの穴に入れ込み、ヒラザガネ、スナップピンの順序でベースを固定します。



- ②1番受け袋をホルダに差し込み昇降機のホース口を1番受け袋の中に入れ込みます。

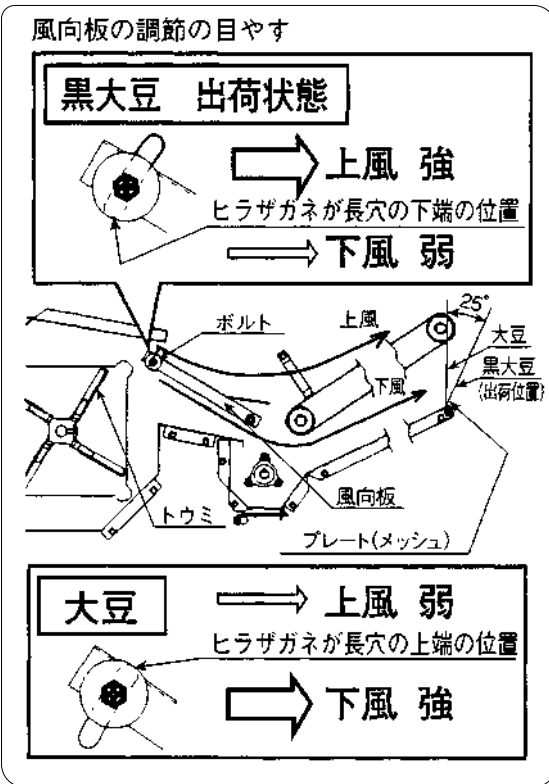


## 5. 作物条件による設定切替え

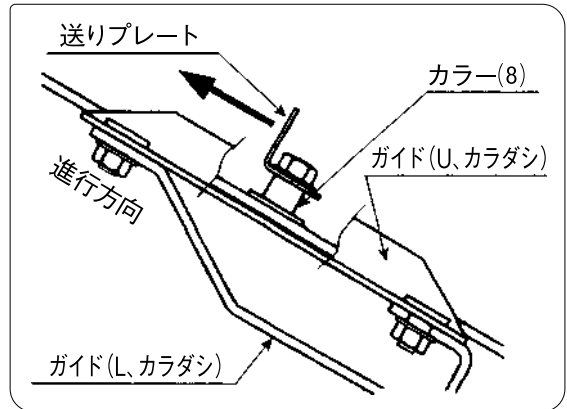
### (1) トウミ風力の調整

大豆、黒大豆ごとに、トウミ風力を調整してください。

- ①カバー（RH）を外し、風向板を固定しているボルトをゆるめ、設定位置で固定します。
- ②トウミの下風の強さに合わせて、プレート（メッシュ）の曲げ角度を調整してください。豆は外に出ず、茎、さや等は、外に飛ばされる角度に調整してください。作物条件により調整は異なりますが、目安は下図の通りです。



- (2) から出し部の送りプレートの高さ調整  
大豆で使用する場合は、から出し部のカラー(8)、ガイド(U、カラダシ)、ガイド(L、カラダシ)を外して作業してください。



## 6. 作業場所の選定

### 重要

- 機械の性能を維持するため、次のような場所での作業は避けてください。

- (1) 地面のやわらかい所や、凸凹のある場所、傾斜地。
  - (2) 雨風の当たる所。
  - (3) 供給口が風下側になる所。
  - (4) 換気の悪い所（屋内作業の場合）
- (1)~(3)の条件下での作業は、選別性能が低下します。

### 警告

- 密閉した又は通気性の悪い所では絶対に作業しないでください。排気ガスが充満して中毒死するおそれがあります。
- 火気のある所では絶対に作業しないでください。排出された茎などに引火し、火災のおそれがあります。
- 水平で平坦な場所で作業してください。傾斜地や不安定な所では、作業時や移動時に、転倒したりする危険があります。

# 走行及び作業のしかた

## 警告

- 本機には照明灯が付いておりません。暗くなってからの作業は行なわないでください。
- 機械から離れるときは必ずトラクタエンジンを停止し、ブレーキを掛けてからにしてください。

### 1. 走行移動

- トラクタエンジンを始動し、脱穀部を静かに上げて走行してください。

## 警告

- トラクタエンジンを始動するときは脱穀クラッチを「切」にしてください。
- 機械の発進時は機械に人を近づけないでください。
- 前進、後進、旋回時は、必ず周囲の安全を確認してください。

## 危険

- 後バランスのままでの走行は絶対にしないでください。
- 後バランスのときは、必ずトラクタ前部にウエイトをつけてください。

### 2. 作物の作業条件

#### (1) 作物の乾燥状態 〈大豆、黒大豆〉

本機の性能をじゅうぶんに発揮させるために、作物は極力乾燥させてください。ただし、黒大豆での過乾燥は割れや表皮のはく離の原因となりますのでじゅうぶんに注意してください。

作業適期は、下図の条件のときです。

振るとカラカラ音がする



## 重要

- 葉や茎がまだ青く水分が多いと、選別部の目詰まりや、スクリュ搬送部での詰まりなど、トラブルの原因となります。

### (2) 根の切断

作物の根は切断してください。

## 重要

- 機体内に土が入ると汚粒が発生したり、詰まりなど、トラブルの原因となります。

### 3. 脱穀作業のしかた

## 危険

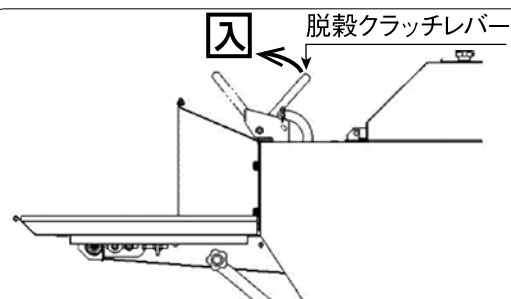
- 回転中は供給口及び排出口の中に絶対手を入れないでください。中の回転物に巻き込まれ大ケガをします。

## 警告

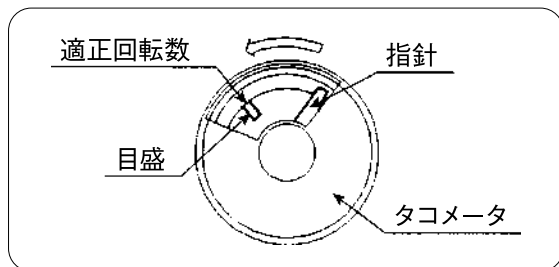
- 回転中は周囲に人を近づけないでください。特に子供さん達に注意してください。
- 軍手は使用しないでください。供給ロールに巻き込まれて大ケガをするおそれがあります。
- 作業中に詰まりなどの異常が発生した場合は、すぐにクラッチを切りトラクタエンジンを停止し、回転が止まってから点検してください。
- 供給物を引っ張ったり押し込んだり、附着物を手で取ったりすることは絶対にしないでください。
- 供給物に異物（石、工具、金属等）が混入しないように注意してください。
- 作業は本機を設置させた状態で行なってください。

#### (1) 回転数の設定のしかた

- ①トラクタエンジンを始動します。
- ②脱穀クラッチレバーを「入」にします。



- ③機体左側のタコメータの指針が目盛りに合うように、トラクタのアクセルレバーで調節します。  
トラクタのPTO回転数は、約900rpmが目やすです。



### 重要

- 本タコメータは、ある一定回転数以上にならないと指針が動かないようになっております。トラクタのアクセルレバーを最高にしても指針が動かない場合は、トラクタ側で1段早い回転設定に切り換えてください。
- 回転数の設定が合わない、詰まりや搬送不良など、トラブルの原因となりますので、必ず目盛りに合せて設定してください。

### 危険

- 大変危険ですので、脱穀作業中の走行移動は絶対に行わないでください。走行移動するときは必ず脱穀クラッチを「切」にしてください。

### (2) 供給作業のしかた

供給は材料をできるだけ均平に広げ、縦向きに行なってください。方向はどちらでもかまいません。かためて供給しますと馬力を要するだけでなく脱粒性能も低下します。

### (3) 2番の再供給

2番受け袋がいっぱいになったら、再供給してください。

供給時は、供給ベルトの上に均平にのせて少しずつ供給してください。

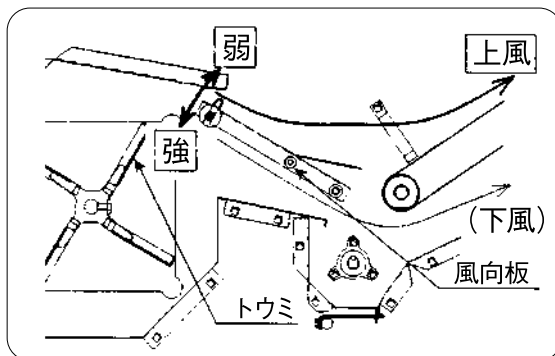
一度に大量に供給すると、詰まりやトラブルの原因となります。

### 警告

- ムリに押し込んで供給することは絶対にしないでください。ロールに巻込まれ大ケガをします。
- 2番の袋を脱着するときは、必ずトラクタエンジンを停止してから行ってください。

### (4) トウミ風力の調節

2番袋へ精粒が多く出るときは、上風を弱くし、1番袋へ枝やさや等が多く入るときは強くしてください。



### (5) 作物の乾燥条件について

#### 〈われ、表皮のきれつが発生する場合〉

黒大豆の場合、過乾燥になりますと、損傷粒の発生が多くなります。その場合はアクセルレバーでトラクタエンジン回転を少し低くして作業することもできます。

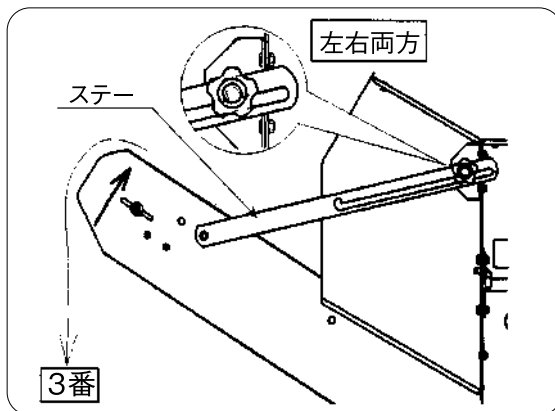
あまり低くし過ぎますと、詰まり等のトラブルの原因となりますのでご注意ください。

#### 〈未脱粒が多い場合〉

未脱粒のほとんどは2番袋に回収されます。再度、乾燥調整した後、再投入してください。

### (6) 3番に豆が多く出る場合

から出しの角度は、ステーの調整で2段階に設定できます。3番に豆が多く出る場合は、角度を1段上げて設定できます。



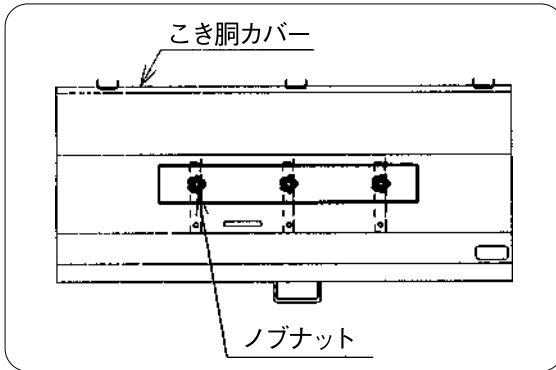
### (7) 排かん速度の設定

こき胴内の作業の送り速度を調整することができます。

通常の作業では、標準位置で作業してください。作物の乾燥条件が良く、脱粒性能に変わりがない場合は排かん速度を上げることができます。

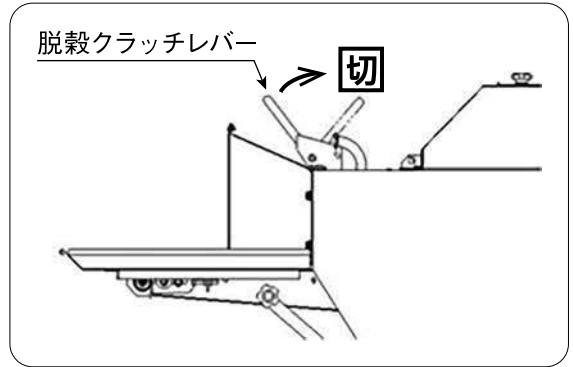


- ①こき胴カバー上部のノブナット3個をゆるめ調整してください。



(8) 脱穀クラッチレバー

供給ロールに手が引き込まれそうになったときなどの緊急時にこのレバーを押すと、脱穀クラッチが切れます。



# メンテナンス

## 各部の開閉と脱着のしかた

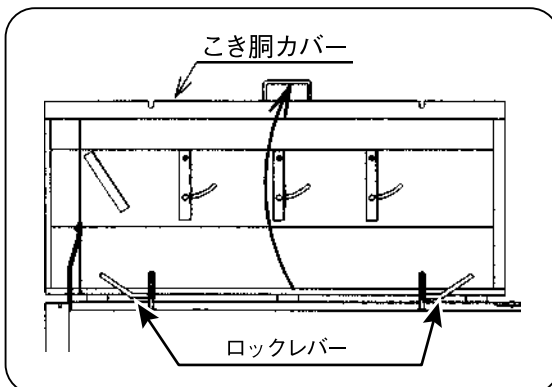
**警告**

- 平たんで安全な場所に置き、必ずトラクタのエンジンを停止し、回転が止まってから行なってください。
- 取外したカバー類は、必ず取付けてください。

### ■こき胴カバーの開閉

#### ◆開きかた

ロックレバーを解除し、持ち上げて開きます。開く途中でステーがセットされカバーが固定されます。

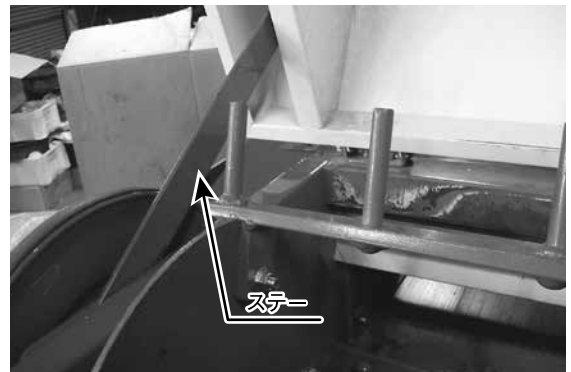
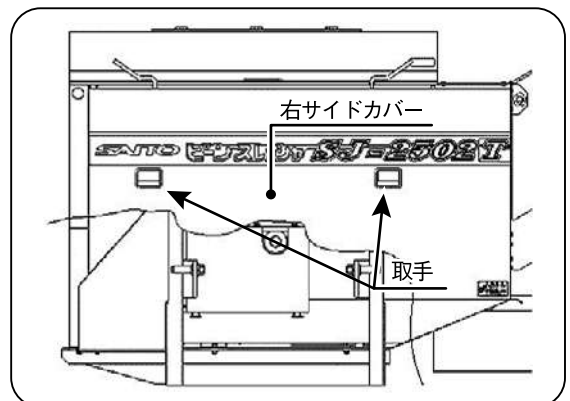


#### ◆閉じかた

ステーを持ち上げて解除し、閉めたあとロックレバーで固定します。

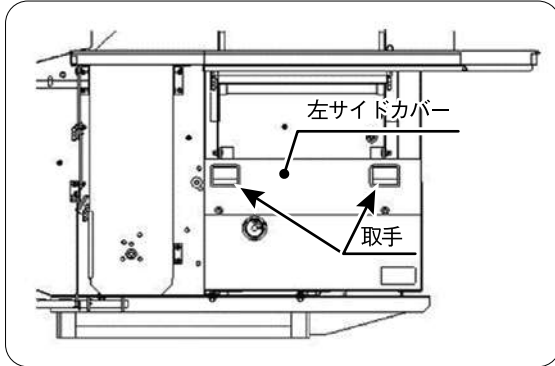
### ■右サイドカバー

取手を手前に引き、カバーを開き、右方向へスライドして外します。



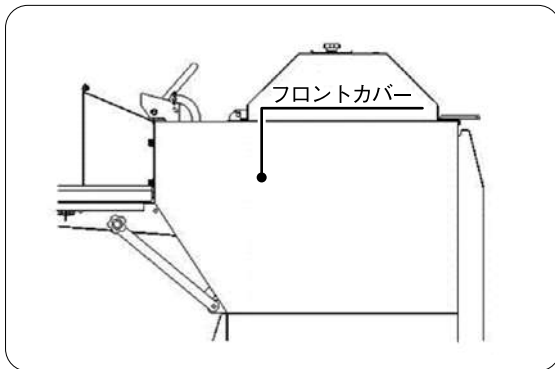
## ■左サイドカバー

取手を手前に引き、カバーを開き、左方向へスライドして外します。



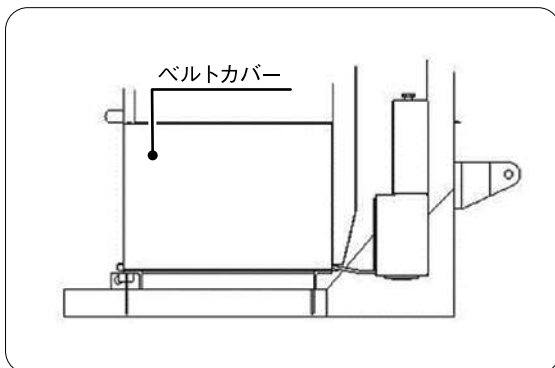
## ■フロントカバー

こき胴カバーを開いて、少し持ち上げて外します。



## ■ベルトカバー

少し持ち上げて外します。



## 日常点検

### ⚠ 警告

- 各部の調整、点検、交換を行なうときは、必ずトラクタのエンジンを停止し、脱穀クラッチレバーを「切」の位置にして、回転部を止めてから作業してください。
- 取外した回転部のカバー類は、衣服などが巻き込み危険ですので、点検後は必ず取付けてから作業してください。
- オイルがこぼれた場合は、きれいにふき取ってください。

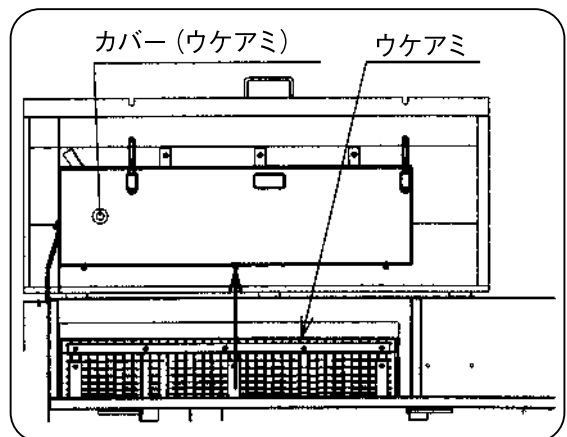
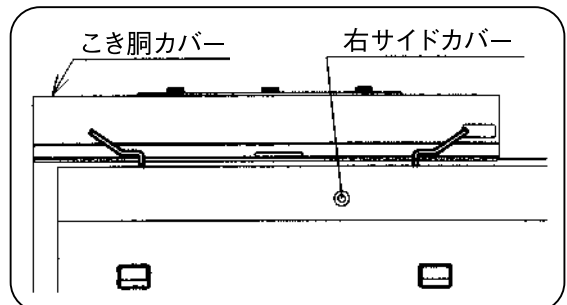
### ■作業前の点検

9ページを参照してください。

### ■掃除・点検

#### 1. ウケアミの掃除

ウケアミ部の付着物を掃除するときは、右サイドカバーを外し、こき胴カバーを開きます。カバー（ウケアミ）を上方へ取外したあと、ウケアミを手前に引き出します。



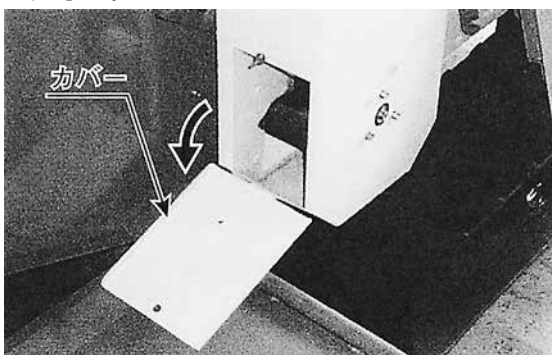
## 2. スクリュ搬送下掃除口

スクリュ内にたまった精粒を取り出すときは、カバー（RH）を外し、掃除口開閉レバーを上下することにより開閉ができます。



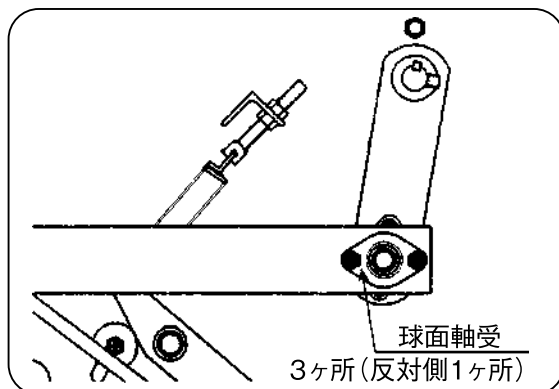
## 3. 昇降機掃除口

昇降機内にたまった整粒を取り出すときは、ノブナットを外し、カバーを下方へ開いてください。

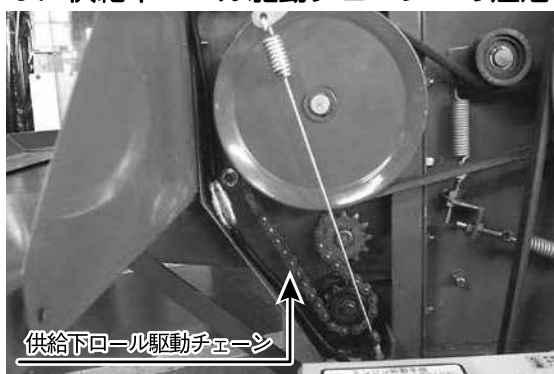


## 4. 球面軸受への注油

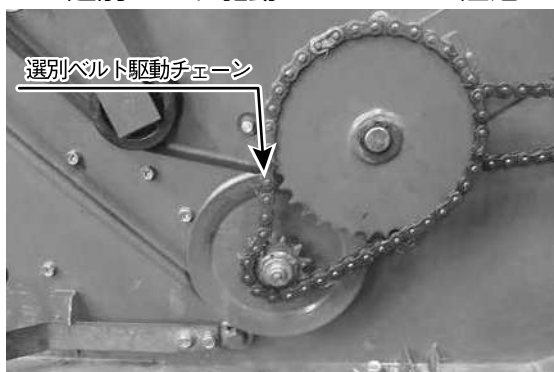
作業前に必ず注油してください。



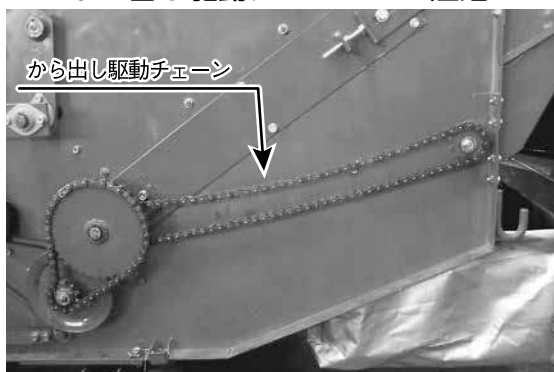
## 5. 供給下ロール駆動チェーンへの注油



## 6. 選別ベルト駆動チェーンへの注油



## 7. から出し駆動チェーンへの注油



## 定期点検

### 警告

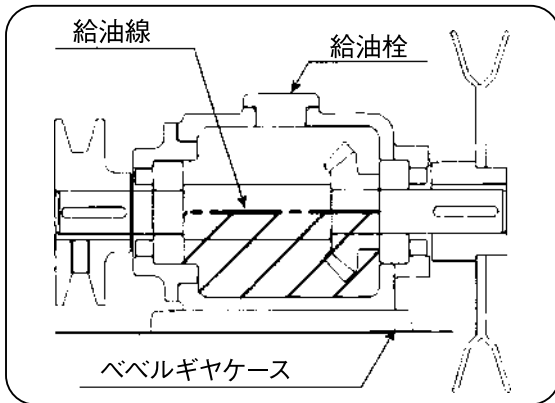
- 点検、交換を行なうときは、必ずトラクタのエンジンを停止し、行なってください。

## 1. ベベルギヤケースのオイル点検・交換

### (1) オイルの点検

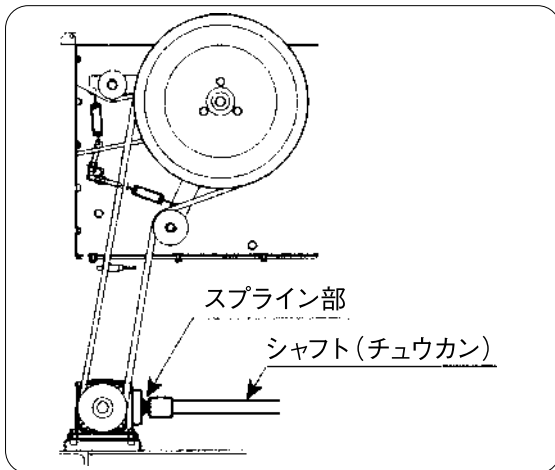
給油栓を外して、規定量のシャフト中心までオイルがあるか点検してください。不足しているときは、給油口から給油してください。

オイルの種類	規定オイル容量
ギヤオイル#90	シャフト中心まで



## 2. シャフト (チュウカン) への定期的注油

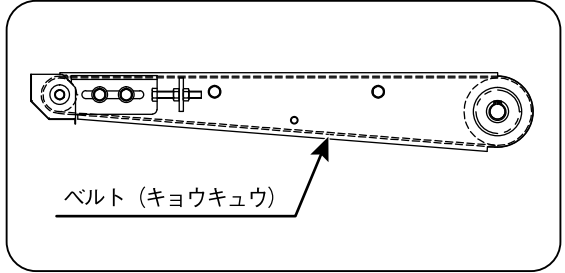
定期的 (100h) にシャフト (チュウカン) のスプライン部に注油してください。



## 3. 各ベルト・チェーン・ワイヤの調整

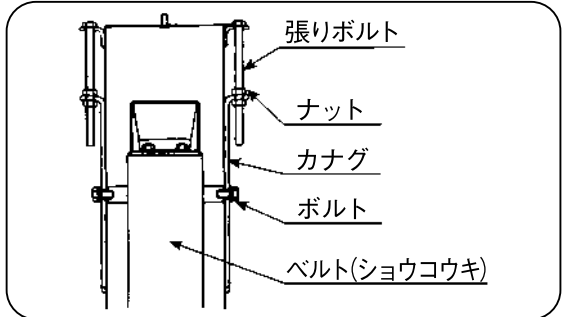
### ■ベルト (キョウキュウ)

ベルトがスリップしたり、片寄りする場合は、固定ボルトとナットをゆるめ、張りカナグを左右均等に張り調整してください。このとき、強く張り過ぎないように注意してください。



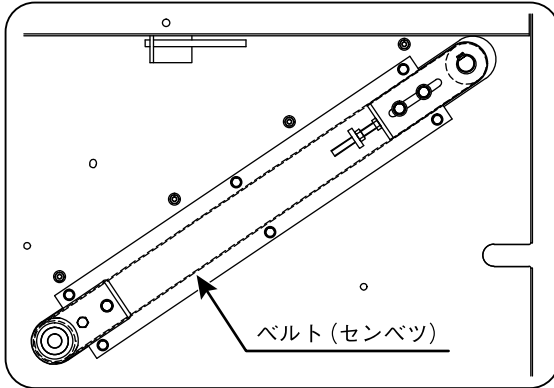
### ■ベルト (ショウコウキ)

ベルトがスリップしたり、片寄りする場合は、固定ボルトとナットをゆるめ、張りボルトでカナグを左右均等に張り調整してください。



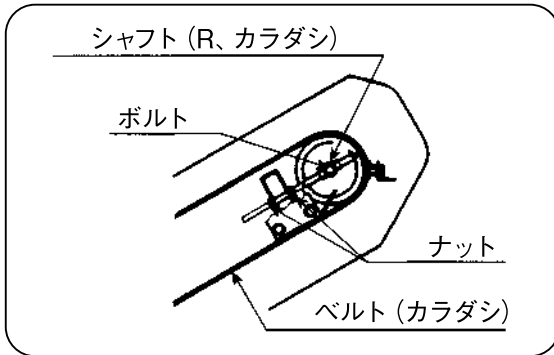
### ■ベルト (センベツ)

ベルトがスリップしたり、片寄りする場合は、固定ボルトとナットをゆるめ、張りカナグを左右均等に張り調整してください。このとき、強く張り過ぎないように注意してください。



### ■ベルト (カラダシ)

ベルトがスリップしたり、片寄りする場合は、固定ボルトとナットをゆるめ、シャフト (R、カラダシ) を左右均等に張り調整してください。

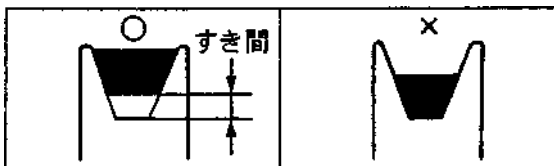


ブイベルトを点検するときは、下記の事項をよく確認してください。異常があればベルトの交換を行なってください。ベルトの交換は購入先へ連絡して行なってください。

1. ベルトの焼付きや摩耗、被覆のはがれ、き裂やひび割れ。

焼付きや摩耗	被覆のはがれ	き裂やひび割れ
×	×	×

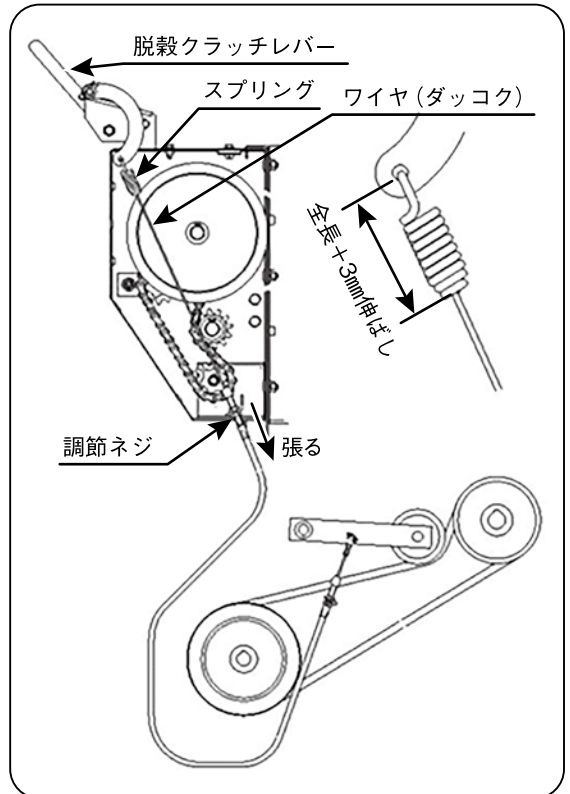
2. ベルトの底部とプーリ



### ■脱穀クラッチベルト

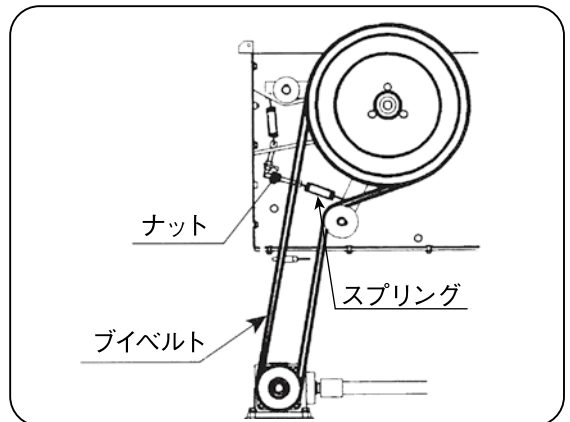
「ワイヤ (ダックク) の調節」

ワイヤ (ダックク) のアウトワイヤの調節ネジを固定しているナットをゆるめ、脱穀クラッチレバーが「入」の状態ですプリングの伸び寸法が3mmとなるように調整してください。



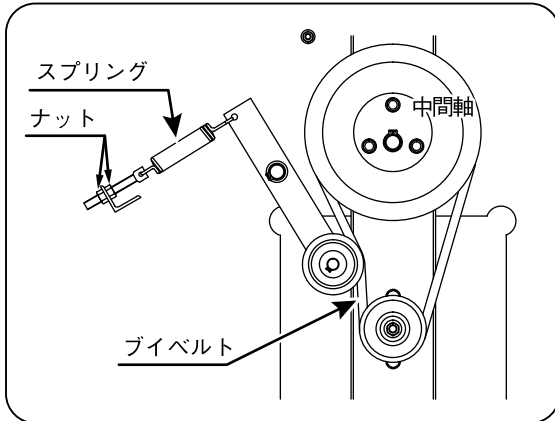
### ■こき胴駆動ベルト

ブイベルトがスリップするときは、固定ナットをゆるめ、スプリングのフック内側の長さを103mmになるように張り調整してください。



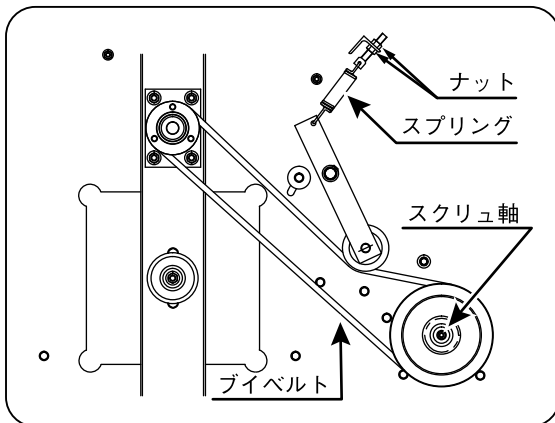
### ■中間軸駆動ベルト

ブイベルトがスリップするときは、固定ナットをゆるめ、スプリングのフック内側の長さを98mmになるように張り調整してください。



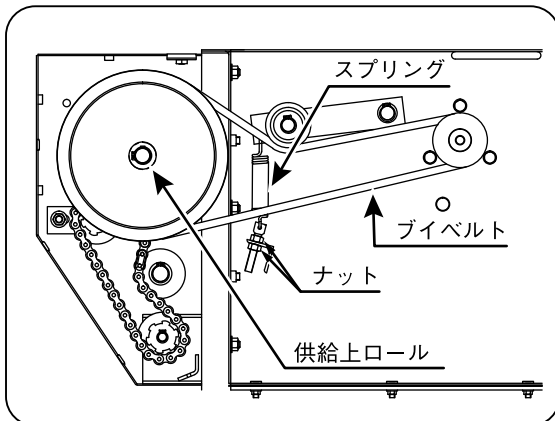
### ■スクリュ軸駆動ベルト

ブイベルトがスリップするときは、固定ナットをゆるめ、スプリングのフック内側の長さを98mmになるように張り調整してください。



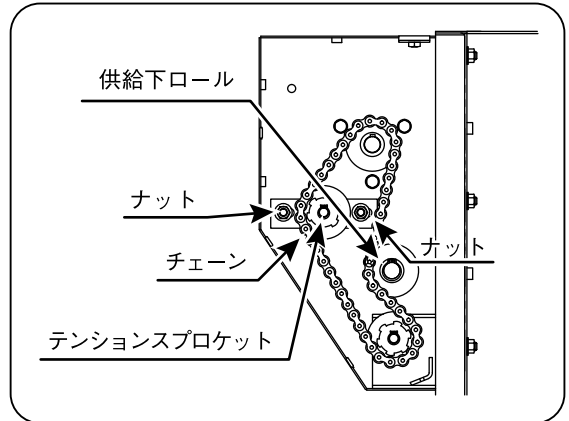
### ■供給上ロール駆動ベルト

ブイベルトがスリップするときは、固定ナットをゆるめ、スプリングのフック内側の長さを100mmになるように張り調整してください。



### ■供給下ロール駆動チェーン

テンションスプロケットを固定しているナットをゆるめ張り直します。



# 長期格納のしかた

1. 各部に付着した泥や汚れをきれいに掃除してください。
2. 回転部やベルト等に巻付いているものを取除いてください。
3. 豆や枝等が残っていると、ねずみの巣になりますのできれいに掃除口などから取除いてください。
4. ネジのゆるみやベルトの伸びがないかチェックし次の年の作業にそなえてください。
5. 注油箇所にじゅうぶん注油してください。
6. 湿気の少ない場所にシートを掛けて保管してください。

# 不調の原因と処置

現象	原因	処置	参照ページ
詰まる	供給量が多過ぎる	供給量を少なくする	15-2)
	材料の乾燥が悪い	材料を乾燥してから供給する	14-2(1)
	回転数が低い	回転数を正規にする	15-③
	伝導ベルトのスリップ	ベルトを張るか交換する	19-3
選別が悪い	トウミの風が弱い	風を強くする	13-5(1)
	根付で供給している	根を切って供給する	14-2(2)
	傾斜地で作業している (左右の傾き) (供給側が低い)	機械を水平にセットする	13-6
	回転数が低い	回転数を正規にする	15-③
2番へ精粒が多く出る	トウミの風が強い	風を弱くする	13-5(1)
	回転数が高い	回転数を正規にする	15-③
	傾斜地で作業している (供給側が高い)	機械を水平にセットする	13-6
	かためて大量に供給している	薄く、均平に供給する	15-2)
未脱粒がある	材料の乾燥が悪い	材料を乾燥してから供給する	14-2(1)
	かためて大量に供給している	薄く、均平に縦供給する	15-2)
	回転数が低い	回転数を正規にする	15-③
割れ豆が多い	回転数が高い	回転数を正規あるいは、低めに設定する。	15-5)
	過乾燥	乾燥を戻してから供給する	15-5)

# 仕様

型 式		S J - 2502 T
機 体 寸 法	全長（格納時）	2730mm（2124mm）
	全幅（格納時）	1778mm（1318mm）
	全高（格納時）	1192mm（1432mm）
重 量		343kg
適 応 作 物		大豆、黒大豆、小豆
供 給 方 法		自動供給型（ベルト供給）
脱 粒 方 式		軸流方式
排 かん 方 式		連続排かん方式
供 給 幅		480mm
脱 穀 幅		510mm
こき胴回転数		370rpm
能 率 （水分18%以下時）		400~800kg/h
トラクタ	適応トラクタ	カテゴリー「0」「1」、20PS以上
	装着方法	標準オートヒッチSカプラ（フレーム区分A）、標準3点リンク直装
	P T O回転数	900rpm

# オプション

## ■ドライブシャフト

長さは、トラクタに合わせて切断する必要があります。

品 番	品 名	型 式 名
19852-0000-0	ドライブシャフト	S J - 5

## ■小豆キット

小豆の作業時に使用します。

品 番	品 名	型 式 名
19883-0000-0	小豆キット	S J - A K



# 安全説明確認カード

説明者（販売店・農協）控

年 月 日

私は説明員から安全についての説明をききました。

ご使用者住所

氏名

印

販売店・農協名

担当者

型 式

製造番号

## 【基本事項】

チェック

1. 作業管理者を決めること。	
2. 作業に適した健康人であること。	
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。	
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。	
5. 不当な改造をしないこと。	

## 【作業について】

チェック

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。	
2. 作業場所の換気と明るさに注意をはらうこと。	
3. 作業は水平でしっかりした場所で行なうこと。	
4. 作業に合った服装で行なうこと。軍手は使用しないこと。	
5. 毎日作業前に点検・掃除を行なうこと。	
6. トラクタエンジン始動時の注意 <ul style="list-style-type: none"><li>●カバークラスを必ず取付けること。</li><li>●周囲の安全を確認すること。</li><li>●必ずクラッチを切ること。</li></ul>	
7. 回転中は供給口・排出口の中に絶対手を入れないこと。	
8. 機械から離れるときは必ずトラクタエンジンを停止し、ブレーキを掛けること。	
9. 回転中は周囲に人を近づけないこと。	
10. 作業中に詰まったり異常が発生したときは、すぐにクラッチを切りトラクタエンジンを停止すること。	
11. 作業中は回転物に絶対手を触れないこと。	
12. 2番の袋を脱着するときは、必ずトラクタエンジンを停止してから行なうこと。	
13. 供給物を引っ張ったり、押し込んだりしないこと。	
14. 供給物に異物が混入しないように注意すること。	
15. 移動するときは必ず脱穀クラッチを切ること。	
16. 後バランスのときは必ずトラクタ前部にウェイトをつけること。	

## 【点検・格納について】

チェック

1. 点検・調整はエンジンを停止し、回転が止まってから行なうこと。	
-----------------------------------	--



# 安全確認一覧表

## 【基本事項】

1. 作業管理者を決めること。
2. 作業に適した健康人であること。
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。
5. 不当な改造をしないこと。

## 【作業について】

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。
2. 作業場所の換気と明るさに注意を払うこと。
3. 作業は水平でしっかりした場所で行なうこと。
4. 作業に合った服装で行なうこと。軍手は使用しないこと。
5. 毎日作業前に点検・掃除を行なうこと。
6. トラクタエンジン始動時の注意 <ul style="list-style-type: none"><li>●カバー類を必ず取付けること。</li><li>●周囲の安全を確認すること。</li><li>●必ずクラッチを切ること。</li></ul>
7. 回転中は供給口・排出口の中に絶対手を入れないこと。
8. 機械から離れるときは必ずトラクタエンジンを停止し、ブレーキを掛けること。
9. 回転中は周囲に人を近づけないこと。
10. 作業中に詰まったり異常が発生したときは、すぐにクラッチを切りトラクタエンジンを停止すること。
11. 作業中は回転物に絶対手を触れないこと。
12. 2番の袋を脱着するときは、必ずトラクタエンジンを停止してから行なうこと。
13. 供給物を引っ張ったり、押し込んだりしないこと。
14. 供給物に異物が混入しないように注意すること。
15. 移動するときは必ず脱穀クラッチを切ること。
16. 後バランスのときは必ずトラクタ前部にウェイトをつけること。

## 【点検・格納について】

1. 点検・調整はエンジンを停止し、回転が止まってから行なうこと。
-----------------------------------

## 純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買求めください。  
市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

## 純正オプションを使いましょう

純正オプションは、一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。  
市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因になります。



### 株式会社 齋藤農機製作所

- 本社・工場 〒998-0832 山形県酒田市両羽町332番地  
TEL0234(23)1511(代) ファクシミリ0234(26)4161
- 北海道営業所 〒079-0181 北海道岩見沢市岡山町18番地  
TEL0126(24)5401(代) ファクシミリ0126(24)5402
- 九州営業所 〒861-8039 熊本県熊本市東区長嶺南1丁目1番10号  
TEL096(384)6865(代) ファクシミリ096(384)6864

品番 19136-7111-4